

「地震」投稿論文 PDF 原稿見本

- ひな形ファイルと併せてご利用下さい -

地震大学大学院理学研究科* 地震学・沖田 走時
地震庁地震火山部** 震動 源

Sample PDF File for Submission to Zisin

—Use This Sample File together with the Template File—

Manabu ZISIN and Souji OKITA

Graduate School of Science, Zisin University,

Hongo 6-26-12, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0030, Japan

Gen SHINDO

Seismological and Volcanological Department, Japan Seismological Agency,

1-3-4 Ohte-machi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8122, Japan

(責任著者のメールアドレス) ***@**.**.**

* 〒113-0033 東京都文京区本郷 6-26-12 第一著者・第二著者の日本語住所

** 〒100-8122 東京都千代田区大手町 1-3-4 第三著者の日本語住所

Abstract

1

2 An abstract is necessary for articles, reviews, and letters. An abstract should be written in
3 English within 500 words in a single paragraph. Summarize your research concisely
4 including purpose of study, data and model (if any), results, and conclusions. As a summary
5 of work done, it is always written in past tense. An abstract should stand on its own, and not
6 refer to any other part of the paper such as a figure, a table, or a reference. What you report
7 in an abstract must be consistent with what you reported in the body of paper. Correct
8 spelling, clarity of sentences and phrases are important. The use of spell-checker or other
9 tools of word processing software is highly recommended to reduce careless errors.

10

11 Key words: Single paragraph, Within 500 words, Conciseness, No reference, Correct
12 spelling

13

14 § 1. はじめに

15 ここから本文です。章の題名は太字にしてください。1 ページ 30 行程度にして
16 下さい。このテンプレートのマージンは、A4 版用紙設定で左マージン 30 mm, 右
17 マージン 30 mm, 上マージン 25 mm, 下マージン 25 mm です。

18 Abstract 以降には必ず行番号をつけてください。本文などには 11 pt. のフォント
19 を使うと読みやすいと思います。句読点は「。」(ピリオド)と「,」(コンマ)を使
20 用してください。数値やアルファベットは半角文字を使用してください。カッコは
21 全角でも半角でも構いませんが、半角カッコの場合には日本語との間に半角スペー
22 スを入れると読みやすくなります。

23

24 § 2. 内容

25 ここから 2 章です。章が変わる時にはその前に空白行を 1 行入れます。

26 2.1 図表の引用

27 図表を引用するときには、「Fig. 1 で示したように」、「Table 2 で」のように、Fig.
28 と図番号および Table と表番号の間に半角スペースを入れます。

29 2.2 文献の引用

30 本文中での文献の引用は「著者の姓 (発表年)」とします。著者の姓は、引用文献
31 の本文が和文のときは和文、欧文のときは欧文で書いてください。共著の文献の引
32 用は、和文で共著者が 2 名の場合は「第一著者・第二著者」、3 名以上の場合は「第
33 一著者・他」、英文の場合はそれぞれ First and Second および First *et al.* (*et al.* はイ
34 タリック)のように書きます。文献をカッコ書きで引用する場合はカギカッコ []
35 を使ってください。カギカッコ内での配列は発表年順です (旧細則ではアルファベ
36 ット順でしたが、変更しました)。同一著者が同年に出版した 2 つ以上の論文を引用
37 するときは、発表年の次に a, b, c を付けて区別してください。

38 本文中での引用の例は、「赤鬼・青鬼 (2005) によれば」、「Ogata *et al.* (1995) のよ
39 うに…」, 「これらの研究 [井合・他 (1978), Andrews (1981, 1985), 狐崎・野越 (1984)]
40 のように…」, 「大森-宇津公式 [Utsu (1961)] の *c* パラメーターは」のようになります。

41 2.3 式

42 数式, 特に本文中の数式は, なるべく 1 行以上を占めないように書いてください。

43 1 行に入らない場合は, 次の行が続きの式だとわかるようにしてください。式を後

44 に引用する場合は、番号を

45
$$x(t) = A \exp(i\omega t) \quad (1)$$

46 のように付けます。数式中の変数は本文中でもイタリックで表してください。数式
47 を書く場合には数式エディタの使用をお勧めします。

48 2.4 単位

49 単位は原則として国際単位系 (SI) とし, sec. ではなく秒または小文字の s, kine
50 ではなく m/s を使用してください。数値と単位の間には半角スペースを入れてくだ
51 さい。

52

53 § 3. まとめ

54 論文の内容を簡潔にまとめてください。本文に書かれていない内容が「まとめ」
55 に出てくることがないようにご注意ください。

56

57 謝辞

58 何何某氏に大変感謝申し上げます。改定稿の場合には査読者にも謝意を表しまし
59 ょう。

60

61

62

文献

63 Aki, K. and P. G. Richards, 2002, Quantitative Seismology, 2nd ed., University Science
64 Books, Sausalito, 700 pp.

65 浅井長政, 1994, 第一著者が同じ場合は単著論文を年号順に書きます, 測地学会誌,
66 112, 542-555.

67 浅井長政・浅井市, 1984, 第一著者が同じ場合は年号が古くても共著論文は単著論文
68 の後です, 東京大学地震研究所技術報告, 32, 102-105.

69 朝倉義景, 2006, 雑誌名はイタリックにしないで巻は太字にしてください, 地震 2,
70 59, 345-367.

71 Furumura, T. and B. L. N. Kennett, 2005, Subduction zone guided waves and the
72 heterogeneity structure of the subducted plate: Intensity anomalies in northern Japan, J.
73 Geophys. Res., 110, B10302, doi:10.1029/2004JB003486.

74 平田 直, 2002, 地震はどこで発生するか, 菊地正幸 (編)「地殻ダイナミクスと地
75 震発生」, 朝倉書店, 12-27.

76 Nakamura, K., K. Jacob, and J. Davies, 1979, Volcanoes as possible indicators of tectonic
77 stress orientation—Aleutians and Alaska, in “Island Arcs Deep Sea Trench and
78 Back-Arc Basins”, ed. by M. Talwani and W.C. Pitman III, Maurice Ewing Series, 1,
79 AGU, Washington D. C., 463-464.

80 地震調査研究推進本部地震調査委員会, 2005, 「全国を概観した地震動予測地図」報
81 告書, <<http://www.jishin.go.jp/main/>>, (参照 2006-1-21) .

82

83 Table Captions

84

85 Table 1. . Hypocentral data of earthquakes used in this study.

86

87 Figure Captions

88

89 Fig. 1. Map of central Tohoku showing the location of earthquake (star) and seismographic
90 stations (triangles) used in this study.